



里海ガイド養成講座（基礎編） 開催しました！



- 日時：10月14日（土）9:00～16:30（1日目）
10月15日（日）9:00～16:30（2日目）
11月11日（土）9:00～16:30（3日目）
11月12日（日）9:00～16:30（4日目）
- 会場：高松市女木コミュニティセンター／1、2日目
津田公民館北山分館／3、4日目
- 講師：小前 昭二氏（Free Cloud 代表） 松野 陽平氏（絆創工房代表）
- 受講者数：16名

実施内容

ガイドに必要な基礎知識を、フィールドにおける体験と対話を通して学ぶ「里海ガイド養成講座（基礎）」を開催しました。受講生は大学生からプロガイドとして活動されている方、学校の先生、森をフィールドに活動をされておる方など様々な人の参加がありました。

◆講師によるアクティビティ体験

講師の松野氏が手本となるように、受講生を相手にアクティビティ体験を行いました。内容は「いろさがし」「インスタ映えスポット探し」「あなたへ俳句」など、どのようなフィールドでも応用できるアクティビティを取り入れていました。

アクティビティ実施の一連の流れとしては、実施方法の説明 ⇒ 注意事項説明（セーフティトーク） ⇒ 体験・実施 ⇒ 体験しての振り返り・気づきの共有の順番で行い、この中でガイドが何をどのように説明しているかを体験しながら学んでいました。



アクティビティ体験（いろさがし）の様子



アクティビティ体験（あなたへ俳句）

◆アイスブレイクの実践

初めて会う人同士だと緊張して硬い雰囲気があります。この硬い雰囲気を氷のアイスに例え、アイスを砕く・柔らかくする方法として用いられる「アイスブレイク」について講師の松野氏から説明がありました。講師から、その方法や種類、注意点を聞いた後、受講生全員が宿題として考えてきていたアイスブレイクにチャレンジしました。

実際に人前でやってみると、イメージしていたのとは人の反応が違い、人前で実践してみる難しさと必要性を感じていたようです。



アイスブレイクについて説明



アイスブレイクに挑戦

◆リスクマネジメント、フィールドチェック

リスクマネジメント講習では、講師の小前氏と一緒に実際の事故事例を検証しながら、どのような方法でツアー中の重大事故やトラブル回避するかについて考えました。

グループワークで考えている中で、フィールドに適した装備や道具の準備、技術を持ったガイドやスタッフの育成、トラブル発生時の連絡方法など細かな部分まで考える機会になったように感じます。

リスクマネジメントとして、事前に危険を予想して回避することの大切さと、これら予見や回避するためにもガイドの知識や技術を向上しておく必要があることに気づいていました。



事故事例を検証しながら考える



重大事故を防ぐ方法について意見共有

◆アクティビティづくり、アクティビティ実施

特徴が違うフィールド2か所でアクティビティづくりに挑戦しました。里海を楽しく体験することを目的として、フィールドの特徴を活かしたアクティビティ作成を各グループ行いました。

受講生が作成したアクティビティ披露では、アクティビティを実施していない受講生と講師は参加者役として体験をして、内容で「良かった点や改善点」について意見を聞き、より良い内容への改善につながるフィードバックを行いました。



アクティビティづくり（女木島）



アクティビティづくり（女木島）



アクティビティづくり実践（津田曽根海岸周辺）



アクティビティ実践（津田曽根海岸周辺）

◆新たな講座修了生の誕生

体験と実践に重きをおいた4日間の講座が終了し、講座で学んだ内容を自分の仕事やプライベートで活かしたいとの声やステップアップ講座の「里海ガイド養成講座（応用）」へ受講を希望する方も多くいました。

今回、県外からの受講者も含め最多の修了生が生まれ、これから、里海ガイドとしての活躍や展開に期待できそうです。



ふりかえり



集合写真